

|    |                |
|----|----------------|
| 公表 | 事業所における自己評価総括表 |
|----|----------------|

|                |                |       |        |             |
|----------------|----------------|-------|--------|-------------|
| ○事業所名          | 富士あけぼの園 吉原中央・実 |       |        |             |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年10月15日    |       | ～      | 2025年10月31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)         | 1 3 名 | (回答者数) | 1 3 名       |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年10月15日    |       | ～      | 2025年10月31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)         | 4 名   | (回答者数) | 4 名         |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年11月20日    |       |        |             |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的にやっている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|---|---|
| 1 | 土曜日の活動で様々な体験・学習が出来ている。                      | 土曜日の活動は平日に比べて活動時間が長い為、より活動の幅を広げることができている。新しい発見や経験に繋がるような活動を用意し、活動後には振り返り・発表の場も設けるようにしている。   | より反響の大きかった活動とそうでなかった活動を分析し、今後のプログラム立案に活用する。                       |
| 2 | ツールを使い分けて活動の様子を保護者様に報告している。                 | 日々の活動に関しては手書きの連絡帳で報告を行なっている。またInstagramを通して、利用者様の活動を視覚でも伝えられるよう一週間に1回以上、発信をしている。            | Instagramの写真の撮り方や配置などさらに工夫を重ね、読み手に楽しさが伝わるようにする。                   |
| 3 | 所属する職員が全員有資格者であり、そのノウハウを支援に反映させることができていること。 | 支援において、視点が固定化してしまうことは様々なリスクを生みかねない。様々な資格や経歴を持った職員が、これまでに培ってきたものを活用することで、より専門性・個別性の高い支援が出来る。 | 研修等を通し、職員一人一人が自身のスキル向上に努める。またPDCAサイクルによるチェックも徹底し、より質の高い支援を実施してゆく。 |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                      |
|---|--|---|---|
| 1 | 職員の役割分担について。                               | 当事業所では、職員の適性や得意を活かして定期的に役割分担を変更している。一方で、保護者様より「職員さんが大変そう」とのご意見も頂いた。 | 改めて役割分担を見直し、業務の効率化を図ります。                                  |
| 2 | 他施設との交流の様子についての周知                          | 他施設との交流の様子が「わからない」との回答を多数いただいた。周知が足りなかったと感じている。                     | 今後交流の機会を増やしていく予定である。実施した際はどのような交流となったのかクローズアップして報告する場を作る。 |
| 3 |  |   |   |